

第3回 都地崇恵氏

- 講演者: 都地崇恵氏 (東海大学)
 - 題目: Semi-local units modulo cyclotomic units for $p=2$
 - 日時: 2021年 7月 6日 (火) 15:00 ~ 16:00 (いつもと開始時間が異なります)
 - 場所: 東京理科大学野田キャンパス講義棟 K206 教室 (ハイブリッド開催、東京理科大学関係者のみ入場可)
 - [Zoom参加登録](#)

[seminar, 2021](#)

abstract

p を素数とし, アーベル体 k 上の円分 $\mathbb{Z}_p$ 拡大における半局所単数群と円単数群のノルムによる逆極限をそれぞれ U と C とする. 剰余群 U/C の Galois 加群としての構造は p 進 L 関数と密接に関連している. $p=2$ も含めた任意の素数 p について, 拡大次数 $[k:\mathbb{Q}]$ が p で割り切れない場合は岩澤, Gillard によって, U/C の Galois 加群としての構造が決定されている.

その後, この岩澤, Gillard の結果を, 講演者は p が奇素数で拡大次数 $[k:\mathbb{Q}]$ が p で割り切れる場合に拡張した. 今回は, $p=2$ で拡大次数 $[k:\mathbb{Q}]$ が偶数の場合に同様の結果が得られたのでそのことについて話す. また $p=2$ の場合と p が奇素数の場合の違いについても触れる.

[<6>]

From:

<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/rs/> - (旧)理工学部 数学科

Permanent link:

<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/rs/seminar/2021/03?rev=1631514615>

Last update: 2021/09/13 15:30

